

●● 校訓 (より正しく・より豊かに・よりたくましく) ●●

令和8年度 帯広市立帯広小学校 学校便り

帯小の窓

開校 130 年の歴史と伝統の上に立つ これまでも これからも

NO. 20 令和8年9月30日 発行 校長 黒島 俊一

あとどのくらい？ 見通しとやる気

昔、子供をつれて家族一緒に高速道路をつかって野球観戦に札幌ドームへたびたび行くことがありました。当時、まだ学校にあがる前だった二男は、家族前って乗っている車が出発して5分くらいつと、必ずと言っていいほど、出てくる言葉がありました。「ねえ、あとどのくらい？ (で札幌ドームに着くの)」

私の心の中には、いつも「今、出発したばかりだよな…」と思いつつも、毎度、運転乗車中に何度も聞いてくるので、しつこいなと思って、楽しいお出かけだからあんまり荒立てて返すのはよくないなと、はぐらかしたり、話しを変えたり、気を紛らしたりする話をするわけです。

ある時、乗り物酔いで二男が車内で嘔吐することがあったときに、「あー、こういうことだったのか」と、はたと気づき、考え、反省したことがありました。

それは幼児性からの経験不足と自分が酔わずに乗り通すことができるかという不安で、前もって聞いておこうという本能的な言動だったのかもしれない、と理解したことです。言葉では訴えなくても、なんとなく体調が悪くて、落ち着かなく、あとどのくらいなのか、それは我慢できることなのか、見通しがほしかったのかと。大人は何度も経験したり、知っている時間感覚や道路等の状況が分かっていたりするので、一定の見通しを持ちながら臨めるのですが、小さい子供は見通しを持てずに、車に乗り続けるのは不安で、ましてや乗り物酔いにより、体調をうまくキープできないで辛くなることは当然の展開だったと思います。

では、「知っている」を大人の都合と考えたとき、このことは学校ではどうなっているのでしょうか。

授業のほか、学校の教育活動でもひょっとしてよくないことが知らず知らずに日常化していないだろうかと改めて考えます。前もって研究、準備している教師は、授業の山場や単元の重要な所など、先を見通しながら授業を進めたりしますが、そこに子供一人一人の学びのペースがどのくらいの割合で落とし込まれているか、ついて行けなくなる子、逆に退屈してしまう子、など学級全体の学びには先を見通した学びと、一人一人の、一つ一つの学びの達成感が大切になってくると言えます。

改訂が近づいている「次期学習指導要領」では、これからの時代を生きるために必要な力を育む見直しがされています。

一人一人のニーズに応じた学びの実現や好奇心や忍耐力や自己調整などの課題等も視点として示されており、こうした根拠を持ちながら、帯広小学校は子供たち一人一人の幸せや生きがいにつながる、見通しある、やる気が出る学び、教師の働きがいある学校、教育の実現を目指してきたいのです。

大事にしたい 地域と学校の「かけはし」交流

地域の老人ホームやグループホーム、幼稚園や保育園に出向いて交流することで思いやりの心を育む「かけはし交流」。全く知らないお年寄りや就学前の子供たちとの素直な交流には、相手を思いやる気持ちで接することが欠かせません。

過日5年生が地域の「聖公会幼稚園」にかけはし交流で出かけました。本校に卒園生がたくさん在籍していますが、学校での学びを実際に校外で体験してみる良い機会と、長年にわたりご協力いただいています。ほか各学年ごとに各施設にも協力をいただき、本校の豊かな学びづくりへのご理解は、大変ありがたいことです。人と人とのかわりを学び、楽しむ実践力をつける本校の特徴的な学びをこれからも大事にしていきたいと思います。

かけはし交流 学年別訪問先一覧

- 1年 るくる
- 2年 愛の家グループホーム
- 3年 きたのくにこども園
- 4年 藤花保育園
- 5年 聖公会幼稚園
- 6年 鉄南保育園

10月2日(金)に令和8年度前期の「あゆみ」を配付します。見方など別途プリントを配布しますのでご確認ください。ご不明な点がございましたらご遠慮なく学校へお尋ね下さい。(学校 TEL22-1424)

～ 新・学校教育目標 ～
夢をもち みんなで高め合い
未来をひらく 帯小っ子

- おおきな心で
- びしっと学び
- ひろがる仲間と
- しっかり行こう
- よい笑顔の
- うきうき帯小っ子

(令和8年4月1日制定)



開校130周年記念事業 ようこそ先輩



帯広小学校開校130周年記念式典が来月10月17日(土)に迫る中、一昨日の9月29日は、第114回卒業生でお笑い芸人として活躍中の「さくら(〇〇)さん」(本名 大原さくらさん)が、お笑いコンビ「いちばんかわいい」(相方はににこーちゃんさん)として来校され、保護者や関係各位のみなさんが多数お越しになられる中、お笑いライブや小学校時代のエピソードトーク、子供たちのお笑い体験などもさせてもらいながら、全校で楽しい一時を過ごしました。

現在東小学校校長で、当時の学級担任だった和田真晃校長先生も駆けつけて下さり、写真を映し出しながらのエピソードトークなども大変盛り上がりしました。

また、代表の児童が登場して、コンビのお二人に指導をしてもらい、手作りうちわを使いながら、全校で歌ったり、踊ったりしたことは、聞くだけではなくお笑いの楽しみも体験することができました。

最後に子供たちにメッセージとして、「くじけそうになっても、頑張りたい気持ちをもって、目標をもち続けることの大切さ、みんな(帯広小の子供たち)とこうして会えたことも目標だった」など、子供たちも嬉しくなる言葉も頂きました。

子供たちにとってあまり経験のないお笑いライブは、いつの間にか場があたたまり、子供たちが自然に声を出しながら、身を乗り出して楽しむ様子が見られ、プロの芸人の力とともに、子供たちがともに盛り上がり、楽しもうとする一体感のある時間となりました。

いつかまた別の機会に、夢をもち続け、夢を実現した先輩として、再び来校いただけることがあればうれしいことです。ありがとうございました。



令和8年9月29日付 十勝毎日新聞記事から



全校で「いちばんかわいい」のお二人と一緒に記念撮影(写真右)
「ようこそ先輩」のライブ終了後は、全校児童と体育館出入り口で、笑顔のハイタッチ！(写真左)で見送ってくれました。

帯広小
今日のきらきらさん



(写真左) 十勝毎日新聞社杯 第52回全十勝ミニバスケットボール秋季大会 男子第6位 帯広光南ミニバスケットボール少年団
4年 鈴木 絵衣佑さん 山野 航輔さん
6年生に混じって奮闘！いい経験で鍛えられます。来年の飛躍に更に期待！

(写真右) 「今月も、手作りカレンダーお届け便」
のぞみ学級 5年 堀井 結桜さん 2年 高橋 蓮さん
5年 長谷川 律さん
学習の一環で毎月末に校長室、職員室のほか、教育委員会等全部で校区24カ所に手作りカレンダーを継続して届けてくれています。いつもありがとうございます。素晴らしいことです。



開校130周年記念事業 10月14日(水) 午前～(天候不順の際は15日に延期) 会場 帯広小学校グラウンド
「熱気球体験 ～ 大空から十勝・帯広を感じよう まるごと帯広小学校」

上土幌バルーンフェスティバルでも入賞するほどの、抜群の熱気球の飛行実績をもつ「十勝空旅団」(とかちそらたびだん)のみなさんを講師に、全校でグラウンドから上空にのぼる熱気球に乗って、帯広小学校と帯広の街を見る記念イベントです。後日、熱気球乗船意向調査のプリントを配付しますのでご覧ください。グラウンド上空に上がり、その場においてくる行程ですが、飛行・乗船にあたっては、全児童が保険に加入して実施します。プロによる安全管理が徹底されている中で実施いたしますのでどうぞご安心下さい。高いところが苦手なお子さんなど、無理に熱気球には乗らなくてもよろしいです。上空から撮影した映像を見ることになります。